

高退協ニュース

高退協定期総会公開！

新役員に河村幸恵さん
森下芳文さん

定期総会は、四月十九日高知城ホールで三十八名の参加で開かれました。湯浅秀夫さんが議長に選出され、昨年逝去された五名のご冥福を祈って全員黙祷、岡崎会長の開会挨拶、橋元高教組委員長のメッセージ、そのなかで土佐の教育改革の一環として、教育基本法改悪阻止の意見広告（5月5日高新）カンパ協力要請がありました。

議案審議では、年金原資の運用の欠損金対処や、校長の定年延長で、そのまま管理職に留まる問題が出されました。事務局から「人民の家」山原健二郎記念館構想が計画されつつあることが発表されました。また活動の重点の一つに、会員の高齢化に伴う相互扶助の運動の取り組みが提案されました。今後具体化を図らなければなりません。

退任のあいさつ

中岡鉄夫

会員の皆様お変わりありませんか。私事多年にわたりご愛顧を賜り、まことに有難く、深く衷心より御礼申し上げます。気は若くてもよる年波には抗し難く、心身ともに限界に達し今回副会長を解任させて頂きました。ほんとうに長い間ありがとうございました。なほ引き続き、顧問にということ、ご迷惑をおかけすることになりました。精一杯の御協力はするつもりですので、何卒よろしくお願ひ申し上げ、御挨拶と致します。

でしたが、他の重要任務遂行のため退任され、また監査の横川哲郎さんが任務を終え交代しました。役員も交代があり、次の役員が承認されました。

- | | |
|------|-------|
| 顧問 | 浜田 昌俊 |
| 会長 | 中岡 鉄夫 |
| 副会長 | 岡崎 清恵 |
| 事務局長 | 中川 正路 |
| 常任委員 | 坂本 敬子 |
| | 西込 曠 |
| | 西田 令子 |
| | 上岡 積 |
| | 三谷 隆彦 |
| | 原 淳 |
| | 田所 昌澄 |
| | 小島 真子 |
| | 小澤幸次郎 |
| | 河村 幸恵 |
| | 森下 芳文 |
| 鑑査委員 | 森 敏之 |
| | 山脇 正照 |
| 役選委員 | 窪田 充治 |
| | 加藤 菊 |
| | 南 千加良 |

古味忠男

一九九七年来私は高退協事務局の仕事をして頂いておりましたが、任期中で病に倒れ、役を果すことが出来ず、大変皆様にご迷惑をおかけ致しました。在任中、数多くの皆様に支えられ、励まされたことに感謝致します。

ご協力、本当にありがとうございました。「健康に過信は禁物」と言うことを実感しました。会員の皆様、どうか日頃の体調には十分留意され、元氣にお暮らしてください。私も一刻も早く体調をもち、出来るかぎりいろいろの行事に参加し、生きがいを見つけてゆきたいと思っています。ますます高退協の親睦の和が広がることをぞみます。今後ともよろしくお願ひします。

高知高退協事務局
2003.12.24
No.122

高知県高等学校退職教職員協議会
高知市丸ノ内2丁目11-10
TEL 088-1822-1682
TEL 088-1822-11893
郵便振替口座 016501211893

ご協力 ご支援を！

高退協会長 岡崎清恵

「団結すれば立ち、分裂すれば倒れる」という諺がある。今年も二十名の新加入者があり四百三十名の仲間が結集する高退協となった。

現職の時、「平和と真実を貫く民主教育の確立」をめざし、幾多の試練をくぐりぬけた仲間が集まる高退協。素晴らしいことだと誇りに思う。

私たち第二の人生を取り巻く社会情勢はかつてなく厳しい。それだけに、高退協の存在価値は高くなっている。歴史の歯車を後退させてはならない。

新年初歩きから、年末の望年会兼芸能交流会にいたる数々のイベントを成功させ、仲間と交流し活動できる喜びを味わい、健康で長生きできるエネルギーとしたいもの。

皆がつどい、皆が楽しみ、生き甲斐をもてる高退協に皆の力で育てましょう。どうぞご協力ご支援を！

鎌田 伸一

一年で退任することになりました。「梶原守光さんを国政の場に送る県民の会」の事務局を手伝うことになったからです。

山原健二郎さんが議席を持っていた高知一区で、梶原さんが議席奪還できるよう、微力を尽くしたいと決意しています。

退職後の一年間、役員をさせていただき、大いに刺激を受け勉強になりました。様子がわかったばかりでの退任で、心残りがありませんが、役員をやったよかったと思っております。

お世話になった皆さんにお礼を申し上げます。

老声草

情勢は刻々かわって占領下の「暫定統治機構づくりに」がすすめられている。北朝鮮の核問題も頭痛の種である。SARSの広がりも気になるが、それよりも中国の対応のまずさをなじって反中国感情をおおるようなマスコミの論調にも腹が立つ。

この原稿の締め切りは明日だから今日はメーデーに参加できないはずなのに、いたたまれなくなってきた。高教組と合流して大いにポリウムも上がってきた。原稿のことが気になりだし帰り支度をはじめていると県教組の一行がなだれ込んで来た。「西込先生じゃありませんか。お元氣ですか。宮地です」このような台詞を耳にするのは高知高校時代の教え子に出会った時だ。ふと見上げると初めて見る好青年がいた。私が怪訝な顔を見せたので彼はつけ加えた。「僕先生にならったんですよ。委員長が中央に出たので僕が後任をつとめています」嬉しさと酔いが一気に襲ってきて原稿のことなど忘れてしまった。何か力が湧いてくるのを感じた。

卒業生名簿をめくっていると一九七四年度卒の所に宮地崇夫の名を見付けた。七〇年の私学教組公然化後民主化の流れが定着しつつある頃で生徒達もその恩恵を享受するようになった頃でもあった。

ブッシュの戦後終結宣言をむなしく聞きながら北朝鮮にも中国にもへたな口実を与えるなど祈るばかりである。日中友好協会の目的は両国民の相互理解と友好を深めアジアと世界の平和に貢献することである。私の任務は協会高知支部を、目的達成に見合う組織に強化発展させることである。

(西込)

秦東寺残日録
坪井 幹之

春へんろ

歩き遍路「翁巡礼記」の続編である。三月十一日から二十一日にかけて、松山から讃岐の七十五番普通寺まで、東予、西讃の二十四の札所を廻った。総距離、約二三〇軒。以下、旅の概要を誌す。

十一日は高速バスで松山へ。道後の「にきたつ会館」で前泊。夕食は前回ほどではなかったが、なかなか美味で満足。十二日は円明寺から歩き始め、北条市を抜けて瓦で有名な菊間町の旅館に泊まる。瀬戸内海斎灘の海岸美はよかつたが、北風に悩まされた。十三日、今治市に入る。五カ所の札所を廻つて五十八番仙遊寺に泊まる。海拔三百米の山中に建つ鉄筋コンクリートの堂々たる宿坊である。本格的な精進料理を頂く。十四日は国分寺を経て丹原町の旅館へ。へんろ道は道前平野の集落を結ぶ旧街道でコースは複雑、道標



就任のあいさつ

河村幸恵

このたび会のお手伝いをさせてもらう事になりました。諸先輩の方々のお役に少しでもたてるように頑張つていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。

退職組△役員を
励まし新加入
を祝う△△

総会に続いて、これからの高知県教育を担う高教組新加入者を祝福する会と、退職した二十五名の仲間を励ます会が、高知城ホール4Fで百二〇余名の参加で開かれました。

高退協から五十四名が参加し、退職者それぞれが高教組運動を総括し、これからの人生の決意を述べられました。二十五名の退職者の中で、すでに十九名が高退協に加わり、四百余名の強く大きな組織として発展しています。



を見落として違まわりを余儀なくされた。疲れた足には数分のロスでも応える。翌日は霊峰石鎚の成就社に宿をとる予定であったが、積雪三十種、アイゼンが必要と聞いて計画変更。十五日当日は朝から雨、七百米の六十番札所横峰寺への登りはきつかった。境内には残雪あり、逃げるように下山、コンクリートの寺で異色を放っている香園寺に泊まる。かくして「霊峰にチンチリリンと伊予の春」は夢の句となる。十六日、国道十一号線沿いの札所三カ所を廻つて、新居浜市に向かう。交通量の多い幹線道路をただひたすら東進。この日はビジネスホテル泊。続いて十七日も十一号線と並行する「しこくの道」を九時間ばかり歩く。三角寺の登り口伊予三島市へ。宿坊が利用できず、この日もビジネスホテル泊。十八日は愛媛県最後の寺三角寺を目指す。海拔四百米に近い。へんろ道は小雨にけがる山道であった。この日の宿泊場所は雲辺寺口

丸山先生
無名戦士の
墓に△口葬

丸山先生
無名戦士の
墓に△口葬

わが国の進歩と革新を目指し、平和と民主主義、国民の暮らしを守るために献身され、亡くなられた方々を追悼し、顕彰をする、第五六回解放運動無名戦士合葬追悼会は、三月十八日、東京の日本青年館で行われました。全国から九八七名、高知から丸山先生を始め十三名が合葬されました。

参加者は、高知から救援会の宮本氏、中村市の岡村さん、高退協より中岡と、東京近辺より六名計九名が参加しました。全国からは数千人の御遺族や友人、知人の方々が参加しました。盛大な合葬追悼会の後、日本青年館より青山の無名戦士の墓まで、葬送行進を行い献花しました。

多くの高退協会員その他の方より、多額のカンパを頂きました。紙上をお借りして厚く御礼申し上げます。

中岡記

の民宿を予定していたが、予約を入れると満員で断られた。その周辺には宿はない。結局、白地の池田備保養センター泊まりとなった。全長八百米余の境目トンネルをこわごわ抜けて雲辺寺口へ。そこからバスで白地に向かう。たいへんなロスとなったが、その晩は宿の温泉で疲れを癒すことができた。これも仏恩か。

十九日、いよいよ今日からは讃岐路「涅槃の道場」を歩くことになる。早朝、タクシードで白地から雲辺寺口へ。八十八カ所中最高の雲辺寺に向かう。海拔九百米に鎮座する山寺まで二時間余の登りである。寺では多くのお遍路さんに交わつて、般若心経を上げ、古くからのへんろ道を観音寺市へ下る。数十年前に田所先輩と辿つた道である。途中で屋敷にうどん屋に寄る。勤定の際、店から百円の「お接待」を受ける。この日の泊まりを予定していた七十番本山寺の門前にある「一富士旅館」で一大事出来。予約の電話の掛

金
学習会
の保障
つる？
立なる
役どう
6月7日(土) 3:30
1:30~3:30
こうち女“ソ”レ”
資料代 300円

5・3憲法を守る
県民の集い

憲法記念日の5月3日、高知城ホールで開催されました。最初にギター、三線の演奏が行われ、参加者を和ませました。高退協会員の代表議員山原健二郎さんのあいさつや、春名衆議院議員の特別報告、岡田順子神戸商船大学助教授の「イラクから見た日本の国際貢献」の記念講演があり、学習の一時を過ぎました。高退協からは17名の参加でした。

川柳 小澤 幸泉

一生命・友情・歳月― 其の二

若者に軽い切符を手渡そう
罪深いいのちの果てにある平和
長生きができれば遺言かいている
窓際も出世も共に老いてゆく
白杖ゆれて車椅子泣く怒り雨
(視覚障害者 堀木文字)

け違いで、普通寺市の同名の旅館に予約を入れていた。大あわてで両館に事情説明、結局、この日は当地に、翌日普通寺に泊まることで了解を得た。二十日、先ずは弥谷寺に。死霊のゆく山と言われていたが、今はすっかり様変わり、公園化していた。俳句でも有名な山寺である。ここから普通寺までは、かつてのへんろ道のムードが色濃く残っている。春霞の中、ゆつくりと寺々を巡り、二時頃件の旅館に着く。イラク攻撃のニュースをテレビで知る。まことに残念。かくなる上は一刻も早い戦争中止を求めぬのみ。二十一日、朝一番の特急で帰高。

今回の遍路の反省を書きたいが、思ったより長い文章になったので、残念だが筆を置く。ただ一言だけ。「歩き遍路」を目指している方は出来るだけ早く足を踏み出すことをお勧めする。歳とともに体力の減退は避けられない。この教訓に関わる「聞くも涙の物語」がある。それは、次回に。

第4回メーデー

54 団体八〇〇名

「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」と第74回メーデー県中央集会在丸の内緑地で開かれ高退協から28名が参加しました。今年4月29日に、有志が高知城ホールに集まり、プラカード12本を作り参加しました。プラカード展では3位入賞しましたが、早くも次回メーデーのデコレーション参加の構想が出されていました。デモ行進後、恒例の高教組・高退協合同の交流懇親会がもたれ、20余名が杯を交えながら、楽しいメーデーを過ごしました。

訃報

伊商を退職された前田康典さんが長く入院治療を受けられていましたが、四月十三日逝去されました。園芸高退職の稲垣茂さんも昨年十一月十三日、兵庫県で逝去の報告がありました。心から冥福をお祈りします。

俳句

3月29日南国市岡豊山城址

合田青幹

靡なる彼方に確と国分寺

淋しさを紛らわせよと花万葉

田所たねを

どの花も遠き戦火の翳り見ゆ

いつ迄ももの思ふなと花の散る

吉本伸秋

風ふいと止みて落花の舞ひ始め

羽たたみあても初蝶おぼつか

中内英明

古城址に思ひ思ひの花筵

春昼や句帳に屈む己が影

中内みち代

花人の四方より登り来る城址

青空に穂の芽高く吹きにけり

小笠原さちを

花の幹後すざりして啄木鳥

家浮かせ漲る代田明りかな

教育基本法を 守る県民集会△△

6月8日(日)一時三十分からRKCホールで開かれます。教育基本法の危機を阻止するために参加しましょう。

△タイ旅行雑記▽

小島 真子

にわかには思いついて、タイへ行ってきた。なぜタイかという点、第一に安かつた。第二には、以前ヒマラヤトレッキングの帰りに、体調を崩してしまい、楽しみを削いでいたタイ料理をまつた名口にできず、とりわけ有名なたんこやムクンスープを試すことができなかった。そこで、それを食べに行つたのである。バンコックは近代的高層建築とスラムのような建物が混在している街である。車がやたらに多く、至る所で渋滞している。信号もほとんどなく、歩行者は車の

活動日誌

[3月]

- 2日 教育基本法を語るシンポジウム 石元県教組委員長を送る会
- 11日 高退協事務局会
- 14日 全退教四国プロック役員会
- 25日 第一回ピースウェイブ実行委員会の結成会
- 27日 有事立法反対の宗教者の会
- 29日 ピースウェイブ署名活動
- [4月]
- 4日 高退協事務局会
- 13日 県議選投票日
- 15日 第一回山原記念館建設準備会
- 18日 第二回ピースウェイブ実行委員会
- 19日 高退協定例総会
- 退職教職員及び高教組新加入者を励ます会
- 22日 第三回ピースウェイブ実行委員会
- 27日 市議選投票日
- 29日 メーデープラカード作成
- [5月]
- 1日 第47回メーデー
- 3日 憲法記念日集会
- 第二回山原記念館建設準備会

私の健康法

上岡 積

「一日に一度汗を流す」をモットーに、40年近く身体を動かし続けてきました。これまでにいろいろやってきましたが、最近、暇さえあれば黒潮アリーナで泳いでいます。ここは、プールサイドが広々として明るいのがいい。温水の出るシャワー室、暖房室(サウナほど高温ではない)、泡の出る温水槽など至れり尽くせりの施設です。1回のスケジューリングは、暖房室でストレッチ10分、500〜1000m泳いだ後、15分ほど水中ウォーキング、そして再び500〜1000m程泳ぎます。途中で休みを入れるとトレーニングにならないので連続して行いますが、いい運動になります。勿論、敬老手帳という黄門さまの御印籠のおかげで、タダです。これに山歩きと畑仕事を加わります。畑は鎌一本でやっおり、多くの時間と体力が要りますが、トレーニングと思えば苦になりません。近くの川のせせらぎを聴きながら、無念無想で土を耕していると、精神的にもリフレッシュします。これでお酒を少し控えると完璧ですが、そうは問屋が卸しません、ハイ!。という事で、血は流さないが、汗を毎日流すのが私の健康法です。

高退協読書会便り

(一) 読書は人生最後の杖 田所 胤雄

今回(4月三十日)の読書会のテキストは、井上靖の「天平の鷹」とオーストリアの登山家ハインリヒ・ハラールの「セブンイヤーズ・イン・チベット」の二冊でした。それにしても一千三百年程昔天平時代、その多くが難破した船に乗って、遍々海を渡つた遣唐使節団の情熱、そしてそれに応えて、仏教の戒律を伝えようと、高い地位をもち、而も何度も渡航に失敗し、首になって迄も日本に渡来した鑑真和尚の使命感、今の吾々には、ちよつと理解し難い、壮烈なものを感じました。

所で私は数年前から白内障を患い、特に左眼は近くに居る妻の顔も判然としない状態で、本も読み辛いくらいでしたが、書店で「セブンイヤーズ」の文庫本を手にとった時、これはもう駄目だと、丁度読書会の二週間前の四月十六日安岡眼科で手術をしました。結果は確かに良く見えるようになりましたが、一週間は安静に、顔や頭を洗うな、その後ポツポツテレビや新聞を見るようにとの御託宣でした。然し一寸だけと思つて読み始めたこのチベット冒険の物語は、実に興味津々、眼を気にしながらも一週間余りで大半は読み上げ、読書会当日は、まるでチベットを見たような気分になって、出席の皆さんと意見の交換をしました。

読書会の最大の効果は、課題の本を期限までに読み切ろうとする意欲を持たせる所にあるのではないかと私は思っています。この本を読書会で取り上げなかつたら、私は終生読むことはなかつたでしょうし、ダライラマと云う民族の精神的な支柱の事や、多夫一妻と云う家族もあると云う不思議の国を通して、大國中国の圧力や、更にイラク問題等を考えることもなかつたと思います。

年を取り体力が弱まると、だんだん楽しみも少なくなり、読書こそが人生最後の杖になるのではないのでしょうか。

高教組だより

執行委員長 橋元 陽一
 新年度が始まりました。二
 年間空席になっていた安芸
 支部書記長に室戸高校分会
 の宮原比登志さんが就任し、
 一七名の執行委員で今年の
 高教組運動をすすめています。

全世界の圧倒的多数の平
 和的解決を求める声に背を
 向けて、米英軍がイラクへの
 武力攻撃を強行しました。そ
 して終結宣言をするや否や、
 大量殺戮兵器の撤去を求め
 てのイラク侵略の口実もそ
 っちのけで、石油資源確保を
 めくって、米英と露仏が再び
 主導権争いをしています。さ
 らに許せないのは、プッシュ
 政権に屈従し、その侵略を全
 面的に支持した小泉政権で

す。しかも国会で有事法制
 の成立を狙い、その動向に乗
 じて、教育基本法をも改悪し
 ようとしています。

私たちは、三月二日の教育
 基本法を語るついで(四〇〇
 名)、五月五日の高新意見広
 告見て頂いたでしょうか、
 十一日の教職員決起集会に
 取り組んできています。また、
 6月8日午後一時半(日)か
 ら、高新ホールで県民集会を
 予定しています。

そして、全国的な運動とし
 て、国会への教職員の意思表
 明として、全教が提起した
 「全国教職員投票」に向けて、
 分会や支部で学習会や意思
 統一を進めています。四月
 九日の高退協総会では、意見
 広告へのカンパを訴えさせ
 ていただきました。

短歌

花散らしの雨

榊原忠彦

「花散らしの雨」のそぼ降る川岸にまだ満開の

並木を愛でる

無慙にも壊されていく丹中山鷲夫の墓はいか
 なるらむ
 鷲夫—幕末土佐の歌人、大倉鷲夫

たのしみは金曜の夜B.S.で「日本のうた」に

くつろぐ時の間

逝く春二〇〇三年

叶岡淑子

地に伏して爆弾よけの姿勢ひた学ぶイラクの
 子等よわが幼き日よ (二月)

手足ちぎれ焼け焦げの遺体ころがるは二〇〇三
 年バグダッドの市場 (三月)

戦争の記事あふれる新聞の古紙置場にも花は
 吹雪けど (四月)

「アフガン・イラク緊急報告会」に出席して
 山本晶子
 宗教戦争、民族紛争、たたかいの根元にあるは
 経済なりとてう

湾岸のたたかいは後病死せしイラクの子らの
 累々たる墓
 無法なるイラク戦争を支持すとう日本の民な
 るわたくしも恥ず



相撲ニ知識 (五十三)

林 勤

丁度一年前の二〇〇二年五月
 (夏)場所の外国人力士は十カ国、
 四十三人であったが、今年五月場
 所は十一カ国、四十九人になって
 いる。国別ではモンゴルが断然多
 くて三十二人、次いでロシア四人、
 ブラジル三人である。

この数的な増加もさることなが
 ら、その活躍、躍進ぶりが驚きで
 ある。相撲史に燦然と輝く足跡を
 残した平成の大横綱貴乃花が今年
 一月(初)場所限りで引退したが、
 この場所優勝した朝青龍は二場所
 連続優勝で三月(春)場所には横
 綱に昇進し、東西の両横綱を武蔵
 丸、朝青龍の外国人力士で占めら
 れた。

貴乃花引退の一月場所には幕内
 から序ノ口までの六階級のうち、
 序二段以外の五階級の優勝は外国
 人力士であった。

昨年七月(名古屋)場所から今
 年五月場所までの六場所の間に
 十両に昇進した九力士のうち三力
 士が外国人力士である。また、こ
 の九力士のうち、十両から更に幕
 内(前頭)へ昇進したのは三力士
 であるが、うち二人は外国人力士
 である。

この五月場所の新弟子検査合格
 二十人の中に、韓国中学柔道の王
 者がいる。十六才で一八七cm、一

高退協の皆さんも、高知新
 聞「声ひろば」へ投稿して、世
 論形成に参加していただき
 たいと思います。

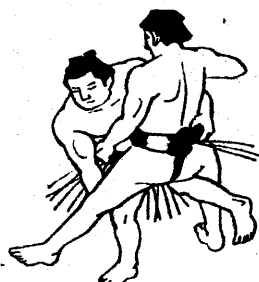
学校は、五日制が二年目と
 なりましたが、授業も校務も
 過密化して多忙に拍車がか
 かっています。昨年私の職場
 では、生徒の荒れが激化した
 中、五〇歳前半の二人の先生
 が倒れ、職場復帰できない事
 態が発生しました。ストレス
 が自分で予測できないほど
 に、身体に蓄積しているのだ
 はと危惧します。

今教育とは何かを問い直
 しながら、教育基本法を守り
 生かす取り組みを重視して、
 学校づくり、仲間の輪を広げ
 る取り組みを練り合わせる
 高教組運動を進めていきたく
 と思います。今年も宜しく
 お願いします。書記局にもき
 てください。

三九kgの恵まれた体格と、「柔道に
 はプロがないから、柔道で五輪に
 出場するよりも大相撲の横綱、大
 関になりたい」という大きい夢を
 抱いて新天地を選んだ意気込みは
 注目される。
 この外国人力士ラッシュ(入門、
 活躍)は、まだまだ続きそうであ
 る。

三所攻め

(みどころせめ)



相手の右足を内外掛けに
 掛け、右手で内外側から
 左足をすくい、体をつきつ
 け、押す。内(外)掛けと、
 足取り、体を押すという、
 三つの技でいっぺんに攻め
 るので、三所攻めといわれ
 る。

高知市若者運動

連絡会△△△△△

のお知らせ

二〇〇三年 年度 総会
 とき 6月13日(金)午後1
 時30分より3時30分
 ところ 高知県保険医協会
 (土佐道路二丁目)
 で開かれます。多数ご参加
 ください。

老眼鏡

「光の石の伝説」
 クリスチャン・ジャック
 渡邊 怜子

昨年未、念願のエジプト
 を訪れた。
 出発前に書店の文庫本コ
 ーナーで、この本に出会っ
 た。「王家の谷に密やかに息づく神
 秘の物語」の謳い文句に惹かれた
 全四冊を買い込んで機内で読みふ
 けた。

旅行に先立ってピラミッドの謎
 や、神殿、ファラオや王妃につい
 て、それなりの知識は持っていた
 つもりだったが、本書は王家の谷
 の建設だけに係った職人たちの物
 語で、違った角度から描かれた古
 代エジプト史として更に旅の興味
 を深めてくれた。

この物語はラムセス二世の晩年
 からラムセス三世の出現までの激
 動期に、テーベ(現ルクソール)の
 農民の息子である「烈火」のパネ
 プが、職人たちの村「真理の場」
 (現デル・アル・メディナ)へ
 入門して最後に職人頭になるまで
 心技共に成長して行く姿を縦糸に、
 二王朝八代にわたるファラオ達の
 玉座をめぐる壮絶な闘いを横糸に、
 それに野望と陰謀の化身メヒが絡
 まった壮大なスケールの物語であ
 る。

作家であり、エジプト学者でも
 ある作者は現存するデル・アル
 ・メディナ遺蹟から発掘された
 数千個にのぼる記録や遺品から、
 当時の職人たちの日々の暮らし、
 人間関係、王墓の建設まで史実に
 忠実に生き活きて

現代に甦らせている。彼の学者と
 しての視線と作家としての情感が
 相まって良質のエンターテイメン
 トに仕上がっている。王家の谷、
 王妃の谷を、訪れた時、墓室の数々
 からこの物語の人物が、一人一人
 立ち上がってくるようで華麗なエ
 ジプト絵巻を見るようだった。古
 代エジプト人の死生観等も活写さ
 れていて、異なった視点から豊か
 で深いエジプト旅行を楽しむこと
 ができた。

これからエジプトを旅する方に
 は是非一読をお勧めしたい本であ
 る。

個人情報

岡崎清恵さんが四月一日
 教育文化功労で高知市長表
 彰を受けました。